

基本構想の見直しに対する意見

資料3-1

部会名	見直しの必要性	理由
総務部会	不要	市民の意識や社会の動向などに基本構想の見直しが求められる程の変化が見られないため。
市民環境部会	不要	市民の意識や社会の動向などに基本構想の見直しが求められる程の変化が見られないと考えられる。
健康福祉部会	不要	基本構想は、当初の段階から10年間で想定して策定し、当然、期間中の社会情勢の変化などは予定しており、それに対応するため、計画を5年間ごとの前期・後期に分けて、対応できるようにしているものとする。 基礎調査などから読み取れる変化については、後期基本計画の柱立ての見直し等で対応する。
都市建設部会	不要	市民の意識や社会の動向などに基本構想の見直しが求められる程の変化が見られないため。
教育部会	不要	当初から10年間で想定していた基本構想に関して、5年経過後に後期基本計画を策定する段階において見直しをすべきほどの点が見受けられないため。
総合計画審議会	不要	基本的には基本構想を見直すほどの大きな変化は基礎調査、意識調査の結果から読み取れない。 基本構想で定める基本概念「安全・安心なまち」、「子育てがしやすいまち」、「つながりのある元気なまち」、「自然・環境に恵まれたまち」は、市民の皆さんに対する意識調査等と照らし合わせても、特にずれているということもなく、求められている正しい方向を示しているように読み取れる。 基本構想については見直しをせず、基本的なコンセプトの枠の中で、施策を検討していくのが良いのではないかと思う。

まとめ

基本構想は、前期基本計画策定の際に基礎調査の結果やワールドカフェでの市民の皆様からの御意見を踏まえ、まちづくりの課題を抽出し、市民の10年間の総意として、策定されている。
現時点では市民の意識や朝霞市を取り巻く社会の動向などに、基本構想の見直しが求められる程の大きな変革は見受けられないため、基本構想は見直さず現在の基本構想を基に後期基本計画の策定を進め、引き続き、将来像「私が暮らしたいまち 朝霞」の実現に向け取り組んでいく。